

2015年1月5日
SMBC日興証券株式会社

年頭所感 久保哲也代表取締役社長発言要旨

明けましておめでとうございます。

役社員の皆さんにおかれましては、心身共にリフレッシュされ、新たな年を迎えられたことと思います。

昨年を振り返りますと、株式市場は、前半は伸び悩んだものの、後半になって、日銀の追加緩和などにより、株価は上昇に転じました。「株は経済の先行きを映す鏡」といいますが、日本経済の先行きにも明るい光が見えてきたのではないかと思います。本年も、政府によって成長戦略が着実に実行されることにより、日本経済が長年のデフレから脱却し、持続的に成長することを期待します。

足許の業務環境に目を向けますと、政府のマクロ経済政策、NISAをはじめとする「貯蓄から投資へ」の流れを後押しする様々な制度面の支援、異例な低金利の長期化など、長年のデフレに慣れ親しんだ個人が投資に向かうための外部環境は整っており、当社のコンサルティング営業を通じて、幅広いお客様のニーズに応える絶好の環境といえます。

昨年、当社では、中期経営計画のもと、本邦 No. 1 の総合証券会社となるために様々な施策を実行しました。国内営業体制の見直し、銀証リテール一体化戦略の全店展開、エクイティ営業の体制強化などです。皆さんのご努力により、これらの取り組みが着実に成果をあげている手ごたえを感じています。

本年は「未(ひつじ)年」です。「未」という漢字は、枝が茂っている木の形で、まだ枝が伸びきっていない部分を描いたものだといわれています。本年も、当社がいっぱいに枝を伸ばして成長できるよう、役社員の皆さんと一丸となって取り組んでまいりたいと思っております。

この一年が皆さんとご家族にとって素晴らしい一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。
本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

以 上